

西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



6月定例会
第152号

TOPICS

▶ 新しい議会役職が決まりました！



甲山と西宮市内の展望(観音山)

CONTENTS

- 6月定例会の主な内容、審議日程など…………… 2
- 一般質問…………… 3～8
- 委員会の活動状況…………… 9～10
- 議案等審議結果一覧表、
9月定例会の開催予定など…………… 11
- 委員会委員名簿、
議会だより表紙写真を募集…………… 12

6月定例会

主な内容

6月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。



主な審議日程

6月	
17(金)	本会議 議会役職の選挙・選任
20(月)	本会議 議会役職の選挙・選任、提案説明
24(金)	
27(月)	本会議 一般質問 (19人)
28(火)	
29(水)	本会議 一般質問 (2人)、質疑、委員会付託
7月	
1(金)	常任委員会 (総務、健康福祉、教育こども)
4(月)	常任委員会 (民生、建設)
7(木)	本会議 委員長報告、討論、採決

議会役職の選挙・選任

本会議において、議会役職の選挙・選任が行われ、第93代議長に坂上明議員、第92代副議長に山口英治議員が選出されました。



議長 坂上 明 (政新会)



副議長 山口 英治 (公明党議員団)

▼その他の議会役職はP12へ

補正予算の概要

補正予算(第2号・第3号)

可決

▽新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、継続的かつ安定的な業務体制を構築するため、調査員の増員、夜間緊急対応業務等の外部委託が進められます。

また、市内の医療体制の充実を図るため、入院受け入れ医療機関への支援金、保健所からの要請に基づき調剤、配達、服薬指導を行った薬局への謝礼金の支給が行われます。

▽非課税世帯等に対する臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり10万円の現金(臨時特別給付金)が給付されます。

▽特殊詐欺対策電話機等購入補助事業

特殊詐欺対策の一つとして、令和4年4月1日以降に、防犯機能付き電話機等を購入した高齢者(今年度中に65歳以上)等を対象に、購入費用の一部が補助されます。

条例

可決・賛成多数

西宮市立中央病院条例の一部改正

令和4年度の診療報酬改定に伴い、特定機能病院と地域医療支援病院(一般病床200床以上)等の初診と再診に係る定額負担金額等が改定されました。そのため、地域医療支援病院である西宮市立中央病院においても、令和4年10月1日から、紹介状無しで受診した際の初診および再診の定額負担金額等が変更されます。

所管事務調査(総務常任委員会)

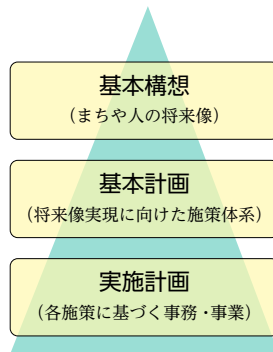
第5次西宮市総合計画

後期基本計画策定方針について

総合計画は市の最上位計画であり、長期的なまちづくりの基本的方向と、施策や事業が総合的、体系的に示されています。

平成31年3月に策定された第5次西宮市総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」から構成されており、計画の期間は、基本構想が10年、基本計画が前期5年・後期5年となっています。前期基本計画の計画期間が令和5年度で終了することから、新たに令和6年度から

の5年間で計画期間とする後期基本計画についての策定方針の報告が行われました。



兵庫県功労者表彰

地方自治の振興・発展に貢献した功績をたたえ、次の議員が表彰されました。

- 自治功労 河崎 はじめ
全国市議会議長会 議員表彰
 議員10年以上 川村 よしと

会派の名称変更

5月11日付で会派「政風会」が「政蘭会」に変更されました。会派所属議員に変更はありません。

一般質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。



よつや 薫
無所属 党

公職選挙法の市民通報への対応

問 公職の候補者が看板に証票を貼っていないなど、公職選挙法に抵触していると市民から通報があった場合、選挙管理委員会はどう対応するのか。

答 一般的には、それぞれの事実関係に即し警察と連携しつつ公職選挙法に抵触するおそれがある場合には、その旨候補者等に注意喚起するなど対応する。

子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の再開

問 子宮頸がんワクチンについて発症する可能性のない99%の子どもたちにも接種を促す問題点について、どう市民に伝えられているか。

答 接種の周知については、発生件数や発症率などを記載した厚生労働省のリーフレットを接種を判断する際の情報として

対象者全員に送付している。

マイナンバーカードの健康保険証利用

問 市内におけるマイナンバーカードの保険証利用に対応できる医療機関は医科で11%。マイナンバーカードの保険証利用の登録を済ませたカードで受診しようとしても当該医療機関が対応できていない、という事態も考えられるが、事前の対応は

答 カードの保険証利用ができる市内医療機関等は10〜20%前後で、国民健康保険証の更新時に未対応機関では健康保険証が必要な旨を通知している。



大原 智
公明党議員団

リサイクルボックスの異物混入低減に向けた取り組み

問 業界と連携し、異物混入が異常に多いエリアの調査を含めた実態の把握・公共回収ボックスの適切な設置・官民共同の新回収モデル策定等への協議体の立ち上げなど、問題解決への決意は。

答 消費者の意識改革及び行動変容を促すため、清涼飲料販

売事業者と連携して各種広報媒体を通じた周知啓発に努めるとともに、情報共有や意見交換の場を設けるなど、行政と業界が一丸となって取り組みを進める。

軽自動車税 課税免除の取り扱い

問 展示販売用の軽自動車等の課税免除をすべきでは。

答 商品であって使用されていない軽自動車等は、ナンバープレートの有無に関わらず課税免除の対象として運用の見直しを図る必要があると考えており、課題を整理した上で、令和5年度の実施に向けて取り組む。



男性用トイレにサンタリーボックスの設置を

問 全ての施設の模範となる市役所において、男性用トイレの個室に、サンタリーボックスを設置すべきでは。

答 市民の利用が多い本庁舎1階中央トイレの全個室に設置し、他のフロアは利用状況やニ

ーズを踏まえ検討する。周辺の庁舎も順次設置を進め、支所等も施設管理者と協議検討する。



河本 圭司
政新会

記号式投票を行った結果と市の評価

問 前回の市長選挙・市議会議員補欠選挙の無効投票数は市議補選で12929票(約7.98%)に及んだ。市長選の約8倍という結果は民意が反映されたとはいえない。市はどう評価し、今後どのように対処するのか。

答 無効投票のほとんどが白紙投票でありこれも選挙人の選択肢と考えるが、記号式投票の周知や案内を行い、投票意思がより反映されるよう取り組む。

成年年齢引き下げに対応した若年層への消費者啓発

問 本市の新成人や、これから成人になる方たちが消費者トラブルに遭わない、遭わせないようとする取り組みを引き続き開発するべきと考えるが市の考えは。

答 学校への出前講座に加え、契約の知識、悪質商法の事例や

対処法を学ぶ教材を配布する。引き続き他市の事例も参考にしながら若年層への啓発に努める。

学校園でのマスク指導

問 正しい根拠を持ちつつ、学校園におけるコロナ対策・コロナ対応を模索し、子供たちの学びと安全を両立させるべきと考えますが、市の考えは。

答 熱中症リスクの高い場面ではマスクを外す指導を行うことを学校園、保護者に通知した後も児童生徒の命を最優先に適切な指導を周知徹底する。



花岡 ゆたか
市民クラブ改革

名神湾岸連絡線の早期完成に向けて

問 市は、名神湾岸連絡線の早期完成に向けて動いていると理解している。市は、事業が遅滞なく進むように尽力するべきだと考えるが、どうか。

答 大阪湾岸道路西伸部に遅れず整備することが必要と考えられており、今後も引き続き地域住民や事業所の方々に丁寧な説明を行い、名神湾岸連絡線の整備

を着実に進めるよう国に求める。
兵庫県受動喫煙の防止等に
関する条例の周知

周知はどのよう
に市民が多い。周知はどのよう
のか。

市ホームページでは県
条例の詳細やリーフレットなど
の啓発媒体を直接見ることが出
来ないため、より分かりやすく
理解してもらえよう県と調整
し、市のホームページの掲載方
法を早期に変更していく。



満池谷火葬場の2030問題

満池谷火葬場だけで20
30年問題を乗り切れるのか。

現在の稼働率から約3割
程度余力があり、順次炉内設備
の更新を行い、常に最新状態を
維持している。令和2年度の耐
力度調査にて今後30年は使用に
堪え得るとの調査結果を得てお
り、需要の増加に対しては、開
場日数や火葬執行の時間帯の見

直しなどにより対応していく。
(質問時48分)



松山 かつのり
公明党議員団

带状疱疹ワクチン接種の助成

带状疱疹ワクチン接種に
ついて、日本では2020年か
ら50歳以上を対象に接種が始ま
ったが、助成をすべきと考える
がどうか。

現在国が带状疱疹ワクチ
ンを含めた複数のワクチン接種
を公費負担とするかを審議して
いる。国の審議を注視し、対象
とされたワクチンについては迅
速に接種が出来るよう取り組む。

太陽光発電パネル廃棄への補助

太陽光発電パネルについ
て、2030年に耐用年数を迎
える一般住宅には適正廃棄処分
が求められるが、それについて
補助すべきと考えるがどうか。

廃棄処理の責任は、所有
者や処分を委託された解体・撤
去業者が負う。今のところ市
が補助を行う考えはないが、適
正処理について所有者や関係者
に周知啓発していく。

地方創生臨時交付金の活用

原油価格・物価高騰対応
分の地方創生臨時交付金につい
ては迅速な予算措置が求められ
るが、市の考えはどうか。

今議会では昨年からの原
油価格高騰で大きな影響を受け
ているバス・タクシー事業者に
対する支援を計上している。そ
の他の施策についての事業内容
や実施時期等を現在精査してお
り、各種支援策も検討していく。
(質問時間59分)



松田 茂
公明党議員団

障がい者社会参加促進事業

本市の移動支援は、重度
障害の方を対象に、福祉タワシ
ーの割引やガソリン費用の助成
を行っているが、中度・軽度の
障がい者を対象とした社会参加
しやすい移動支援をどのように
考えているのか。

移動支援は社会参加の促
進の観点において、必要な課題
と認識しており、財政面の課題
を含め、近隣市町の実施状況も
注視し、調査研究していく。

リトルベビーハンドブック

子供の成長記録に寄り添
うリトルベビーハンドブックの
作成・運用が必要と考えるが、
本市の考えは。

低体重児や医療的ケアが
必要な子供に家庭訪問を行い、
個々の状況に応じた対応やホー
ムページでの情報提供を行う。
県でハンドブックを作成予定で
あり、積極的な活用を検討する。

水道料金の決済方法

本市では、PayPay
やLINE Payといった専用
アプリで水道料金を支払えるが、
加えてクレジットカードでも決
済ができるように進めてみては
いかがか。

クレジットカード決済は
上下水道局負担の手数料等が高
額なため導入していないが、キ
ャッシュレス化の流れに沿った
多様な支払い方法を検討する。
(質問時間58分)

市長2期目の最重要課題



八木 米太郎
会派・ぜんしん

文教住宅都市を引き継ぎ、
時代に即したバージョンアップ
を目指す。女性の社会参加はス
タンダードであり、子育て・教
育の環境、待機児童問題を解決
し、放課後の居場所づくりもし
ていく必要がある。所得の多寡
に関わらず医療補助が受けられ
るよう制度を改善しなければな
らない。子育て・教育を社会全
体で支えるようになることがバ
ージョンアップの一面である。

名塩道路の整備状況

名塩道路整備の進捗状
況について聞きたい。

生瀬地区は、(仮称)城山
トンネルが令和4年2月1日に
貫通し名称は生瀬トンネルに決
定、西宝橋は本年秋の仮橋への
切り替えに向け大多田橋交差点
の改良工事を進めており、8年
春に供用予定。東久保地区の用
地買収の進捗率は本年5月末現

在、面積割合で約80%。名塩茶園町交差点付近では、名塩川を渡る2箇所の橋梁工事を進めており、用地買収完了箇所から河川の付け替え工事等に着手予定。

▼その他の質問 石井市長、2期目の施政(選挙結果の評価)市政施行100周年と都市宣言(周年記念事業)、新たな国際交流(ウクライナ支援)支援から交流へ)



草加 智清
会派・ぜんしん

武庫川の防災・減災
対策の取り組み

(質問時間34分)

問 これまで南海トラフ巨大地震による津波や大型台風、線状降水帯の発生による豪雨の際に武庫川が氾濫する可能性を指摘し、防災、減災対策の必要性を市から県へ訴えるよう強く要望してきた。現在の武庫川河川整備事業の進捗状況と今後の工事予定について聞きたい。

答 民家側堤防のり面下部の補強工事や武庫川駅橋脚補強工事の設計が完了。遮水矢板設置は86%、河床掘削は22%、低水護岸改修は42%が完了。令和4

年度は武庫川駅の橋脚補強工事、低水護岸工事、河床掘削工事、南武橋の架替工事等を予定。

兵庫医科大学病院方面へ向かう
小曽根線バス路線の実現

(質問時間42分)

問 これまでの一般質問の中で長きにわたり訴えてきたJR甲子園口方面へ向かうバス路線は実現したが、長引くコロナ禍の影響を受けて、兵庫医科大学病院方面へ向かう小曽根線のバス路線は実現していない。コロナ禍が完全に収束していないが、状況を鑑みながら、1日でも早くに実現するように、市としての支援を進めるべきでは。

答 阪神バスから、兵庫医大を経由する路線は利用が一定見込めるため、時期は未定だが次回ダイヤ改正時に開設を検討している。今後試験走行や協議等が進められるため、市も必要な支援をしていく。



田中 正剛
政團会

不登校生徒への
進学情報の提供とサポート

問 不登校の児童生徒が急増する中、進学後の学習にも配慮

し、進路指導時の通信制高校の費用等に関する情報提供や、経済的負担の軽減等、サポートを強化すべきと考えるがどうか。

答 県や本市の各種奨学制度一覧を作成し家庭訪問等で説明している。本市の奨学制度の所得要件緩和は困難だが進路選択の参考情報を確実に伝えていく。

幼児教育における
食文化の継承と食育の推進

(質問時間48分)

問 幼児期は、親子で食について学べる貴重な期間である。規則正しい食生活や和食の普及、日本の食文化の継承など食育の推進を西宮市の幼児教育に盛り込むべきと考えるがどうか。

答 幼稚園や保育所での食育の取り組みを支援するとともに、各園の給食や食育の取り組みを通して、子供やその保護者の食に対する理解促進に努めていく。



幼児教育センターの設置

問 官民連携の下での幼児教育センターを設置し、幼児教育保育ビジョンに基づく実践例の

普及や事例研究を進め、研修による保育者のスキルアップも図るべきと考えるがどうか。

答 質の高い教育・保育の実現に向け、幼児教育センターの必要性や官民連携の在り方などについて、他市の事例も踏まえて検討していく。



ひぐち 光冬
無所属

いじめへの今後の対策

(質問時間48分)

問 昨年度市内小学校で起きたいじめ重大事態において、被害者のSOSに気が付かなかったことは重大だ。今後の対策は。

答 定期的に行う生徒指導担当者の研修会でいじめの早期発見・解決への取り組みを重要な課題とし、組織体制の見直しや指導の在り方等を指導していく。

いじめ事案の
第三者委員会による再調査

問 今回の事案での調査は被害者の聴取ができていない上、調査終了後に重要資料が見つかるなど全く不十分である。再調査すべきと考えるがどうか。

答 現在、被害児童と保護者

に最終調査報告書、追加報告書を提出し検討いただいており、お返事によっては第三者委員会による調査も可能と考えている。



山田 ますと
公明党議員団

認知症診断制度の充実

(質問時間26分)

問 MCI(軽度認知障害)スクリーニング検査のような診断助成制度を本市として充実させる必要があると考えるが、市の見解を聞きたい。

答 認知症無償診断制度は2期目の市長公約に掲げており、今後、実施に向けて血液検査などの診断項目を医師会の専門医などから意見を伺い選定する。

「個人賠償責任保険制度」
の創設

問 認知症患者が賠償責任を負ってしまった場合に保障される「個人賠償責任保険制度」を創設する考えはないのか、市の見解を聞きたい。

答 認知症になっても安心して暮らせるよう、本人や家族を支える体制を強化する必要がある。損害賠償保険制度も支援の



一つとして、他市の実施状況や効果等を踏まえ検討していく。

急勾配のある坂道に
手すりの設置を

問 車両や通行に支障のない有効幅員がある場合、一定の傾斜度がある場合には、手すりを設置できないものか市の見解を聞きたい。

答 自動車等も利用する一般の生活道路は交通等への支障が懸念されるため設置困難であるが、今後、要望があり通行に支障のない有効幅員がある等の要件を満たす場合は、国のガイドラインを参考に設置を検討する。
(質問時間36分)



宮っ子つながり
支える条例(仮称)

問 市長選での公約に掲げられていた子どもの条例について子どもの意見表明に関してどのように反映するのか。

答 宮っ子を社会全体で支え



ていくための条例(案)を策定したい。子供の声を聴く機会をつくることは、とても大切であり、条例(案)の中で何らかの位置付けを行いたいと考えている。また、公約に「子どもたちの声を市政につなげるため、イベントの開催や仕組みづくりについて検討する」と掲げており、まずはそうした取り組みから検討を進めていく。

市民参加型の協議会の開催

問 西宮市のまちづくりについて市民と行政の参画と協働を推進するため市民協議会を開催してはどうか。

答 子育て中の方や就労者等が地方自治に参画しにくい現状において、市民協議会は無作為抽出された市民全員で課題を共有し議論を行うことで、表層的な世論調査の結果等に留まらずバランスの取れた結論を得ることが期待できる参画手法と考える。しっかりとしたアジェンダが設定された討議会の実施が本市でも実現可能か検討していきたい。

▼その他の質問 西宮市におけるZEBの考え方、医療的ケア

児の保育所入所

(質問時間43分)



市立中学校卒業式の日程変更

問 市立中学の卒業式は、公立高校の入学試験直前に行われている。生徒の負担軽減のため日程変更を検討すべきでは。

答 教育課程の修了や進学関係書類の作成等を行うため現日程となっているが、学校に保護者等から提案があれば、学校運営の参考とすべきと考えている。

PTA活動への支援

問 保護者に大きな負担がかかる、現在のPTA活動には大きな問題がある。子供達のための活動に注力できるように、市が積極的に支援するべきでは。

答 PTA協議会からの依頼や働きかけに応じつつ、協議会が主体的に課題に取り組み、PTAの負担軽減や持続可能な活動に寄与できるよう支援する。

職員の不祥事再発防止に
関する取り組み

問 本市では過去4年間で18

名もの職員が逮捕された。また不祥事に起因する停職・減給等の処分も多発している。市は今後3月「不祥事再発防止に向けた取組方針」を示したが、内容は十分とは言えない。今後、定期的に取り組みの進捗状況を示すべきでは。

答 庁内で定期的に全体の進捗管理を行い、必要に応じて内容の見直しなども検討する。また、取り組みの状況はホームページでの公開を検討する。
(質問時間60分)



脇田のりかず
維新の会
西宮市議員

問 ウクライナ情勢や、円安の関係で、物価が上昇傾向にある。市民、事業者にとって死活問題となり得るため、経済活性化として電子版プレミアム商品券事業を実施してはどうか。

答 紙や電子版の商品券、QRコード決済にはそれぞれメリット・デメリットがあり、前提条件や必要な対応が異なるため、今後、商品券事業を実施する際は求められる経済対策の内容と

規模に応じて、いずれの手法が効果的かを比較し、他自治体の事例も参考に事業の検討を行う。



産官学民連携による
オーラルフレイル対策事業

問 高齢者の健康維持、フレイル予防のためには誤嚥性肺炎を予防する必要がある。そのためには口腔機能を衰えさせず維持していく必要がある。海老名市や柏市等の先進事例を参考に、本市においても産官学民連携のもとオーラルフレイル対策も含めた効果的な事業を行っていくべきだと考えるが、本市の見解は。

答 フレイル予防事業では、医師会や歯科医師会、薬剤師会などの関係団体や学識経験者で構成される会議などにおいて定期的に広く意見を伺い、事業検討を行う。また、包括連携協定を締結している武庫川女子大学と事業評価を行い、評価結果をもとに効果的な事業実施を行う。
(質問時間45分)





吉井 竜一
政團会

校区を超えて合同で実施する
部活動の促進

問 中学校における部活動は学校教育の一環としてだけではなく、かけがえのない青春時代の活動として非常に価値の高いものであると考える。小学生の頃に行っていたスポーツを中学生でも継続したいが、進学先に対象の部活動がない場合、合同チームを促進していくことが解決の鍵になると考える。季節限定や、一時期限定のチームではなく、通常の部活動と変わらない範囲でこの合同チームを進めていくべきだと考えるが、市の見解は。

答 昨年度より市内3中学校で他校の部活動に参加できる連携型合同部活動の実践研究を実施。成果が確認でき、他地域に展開する場合、連携する近隣校で活動できる可能性が広がる。

部活動に参加するための
交通費補助

問 現在の部活動の環境でも南北や東西の地域格差はあると考える。例えば北部の子どもが

練習試合や大会に参加するために南部に来る際の交通費等のハードルなど今回の部活動改革に合わせて解決する方向に舵を切るべきだと考えるが市の見解は。

答 経済的な理由で部活動に参加できない家庭への支援については課題と考えるが、国の制度の活用や関係部署との協議を通じて、生徒たちにより良い環境を提供できるよう努めたい。(質問時間54分)



坂本 龍佑
政新会

育成センターでの
4年生の受け入れ

問 育成センターの4年生の受入実施が41のうち23の小学校と遅れている。待機児童の早期解消に向け、来年度以降の施設整備のあり方を作成すべきでは。

答 全育成センターでの4年生受け入れの早期実施、利用児童数増加に対応するための受け入れ枠の拡大に向けて施設整備のあり方を今年度中に更新する。

ペーパーレスの推進

問 市のペーパーレスの推進は5年間で約4%の削減で、目

標設定も「前年を上回らない」であることは、環境学習都市としていかなるものか。明確な削減数値目標の設定とホームページ等で結果の公開をすべきでは。

答 前年を上回らないという抑制的目標ではなく、意欲的な目標を掲げていけるよう検討するとともに、進捗状況のホームページ公表についても検討する。

マンシヨンの開発抑制の
適切な緩和を

問 人口減少時代に、教室不足を理由とするマンシヨンの開発抑制が多く地域で続いているが、増改築の完了や、児童の減少など、各小学校の状況を見て、早急に緩和をすべきでは。

答 児童生徒数が増加している校区もあるため、校区ごとの人口動態を見極めながら、関係部局が連携し、しかるべき時期に地区指定の緩和を検討する。(質問時間58分)



宮本 けい一
市民クラブ改革

隠れ教育費・保護者負担の
軽減を

問 小学校の算数セットは使用頻度が低いにもかかわらず、

家庭での購入が必要で、家計の負担と名前書きが保護者の大きな負担になっている。セットの内容内容全てが必要か再度精査した上で、学校備品として児童に貸し出しはできないか。

答 算数セットは家庭学習での使用状況も含めた実態を調査し、学校備品として共用化を検討する。その他学用品についても費用負担の在り方を研究する。



児童館・児童センターの
日曜開館を

問 日曜日の子どもの居場所や父親の育児参加の観点からも天候や季節に関係なく遊べる児童館の日曜開館はできないか。

答 父親の交流、子どもの居場所を市が提供することは大切と考えており、多様な働き方がある中で、日曜日に何らかの機能を提供できるようにしたい。

統合新病院に看護師等の
資格を持つ手話通訳士を

問 病院を受診する時、ろう者や聴覚障がい者は説明が分かるか等の不安も大きい。医療の

専門用語に詳しい看護師等が手話通訳士として配置されれば安心して受診できるが、どうか。

答 統合新病院の開院に向け協議中であり、障害のある方がより安心して診察を受けることができる環境づくりについて検討するよう県に働きかけていく。(質問時間48分)



福井 浄
維新の会
西宮市議員

いじめに対する
新しいアプローチ

問 寝屋川市は、いじめは人権侵害であり「命と尊厳を守る」ために、学校や教育委員会ではなく市長直轄の部署として危機管理部監察課を設置し、いじめ問題の解決に非常に有効な対策を立てている。いじめに対して、学校等は教育の中で指導し、育てようと努め、和解や仲直りを進める。しかし、その配慮がいじめの対応を遅らせ、事態の深刻化を招くことがある。このように教育的アプローチには限界がある。これに加え、行政的法的アプローチで補強された寝屋川市の取り組みを、本市も導入すべきと考えるがどうか。

【答】 寝屋川市のような部局の設置は現時点で考えていないが、法に規定されていることができているか検証し、必要であれば改善や財政的措置等を行う。

いじめの調査部局に関するアンケート

【問】 「市民とともに新たな価値を生み出す」ということが市長の方針ならば、まずは保護者と生徒に寝屋川市の監察課のような市長部局がいじめの調査を行う方が良いのかどうかについてのアンケートを取ってから判断すべきと考えるがどうか。

【答】 市長部局によるアンケートの実施について協議はしたいと思うが、やはり信頼に足る教育委員会、学校現場であってもraithたいと考えている。



田中 あきよ
市民クラブ改革

マスクを外す不安への対応

【問】 マスク無しでは不安な子どもたちがいるが熱中症の危険もあり、どのように外していか、具体的な対応が必要ではないか。

【答】 授業では十分な距離を確保し、外していいよから外しましょうに言葉を換え、教員もマスクを一緒に外すなど不安を取り除く丁寧な指導に努めている。

マスクを外せる場面の大人への周知広報

【問】 文科省からの通知で、体育の授業、運動部活動の部活中、登下校時はマスクを外すようにとのことだが、大人も外せる場面の周知広報をしてはどうか。

【答】 登下校時等マスクを外すよう指導していることを地域や見守りの方にも理解してもらい、状況に応じて大人自らマスクを外していただくよう周知する。

中央運動公園へインクルーシブ遊具の導入

【問】 西宮中央運動公園の再整備事業において、障害があってもなくても利用できる場にするため、インクルーシブ遊具の導入は検討しているのか。

【答】 障害の有無に関わらず、全ての子どもたちが学び、共に遊ぶ場となるインクルーシブ遊具の導入について、積極的に検討していく。

【問】 その他の質問 不登校特例校に対する考え方、ひきこもりか

ら社会への一歩 ほか

(質問時間60分)



佐藤 みち子
日本共産党
西宮市会議員団

子どもの医療費無料化

【問】 市長は、2018年6月議会初当選直後の所信表明で乳幼児等医療費助成制度の所得制限の見直しについて検討すると表明していた。しかし、見直しが見直したのが2021年7月である。市長になって3年目とあまりに遅すぎる。2022年市長選の公約は現在、中学3年生までの医療費助成制度を所得制限を撤廃し18歳まで拡大することだが、どのような制度を考えているのか。

【答】 18歳まで所得制限なく無償化を目指す、実施時期や助成内容について詳細を詰めており、できる形から進めたい。詳細は9月議会にて示したい。

学校給食費無償化

【問】 学校給食は成長期の子どもたちの心身の成長・発達を支え実際の給食を通して食について学ぶ教育の一環であり、学校

給食は教科書と同じように無償にすべきである。学校給食無償化について、文科省は2017年度調査後、全国調査を実施していないが、民間の調査では給食費を無償化する自治体が増えている。このことについての見解を聞く。

【答】 財源に国の支援が見込めない現状では給食費の無償化は困難だが、近隣市よりも就学奨励世帯の所得基準を緩和して給食費を支出し、支援している。

(質問時間35分)



大石 伸雄
政新会

認知症高齢者の行方不明案件への対策

【問】 地域では、今後の事案発生を防止するためのマニュアルなどを作成している。市は市民の安全安心を確保するために事前の対策などを市民と共に構築する必要があると感じるが、行方不明者の現状と対策は。

【答】 市では、徘徊行動のある人の居場所を特定できるGPS端末機の貸与事業、氏名や写真を事前登録し行方不明者が発生した際に捜査協力者に情報提

供を行うSMSメール配信事業を実施している。今後はこれまでの取り組みに加え、自治会や地域団体、関係部局との連携を深め、行方不明者への対応や施策を組織横断的に充実していく。

通学路横断歩道の白線補修に係る市の対応

【問】 消えかかって見えづらくなった横断歩道の白線をスプレー塗料で一時的に塗る専門部隊「機動補修班」が兵庫県警で4月に発足した。市は、県警の対応を受けて、危険除去のためにどのように対応していくのか。

【答】 通学路の安全確保のための情報等を収集し、警察や関係部署と連携し迅速に対応することが重要と考える。今後も通学路合同点検を行い、学校や保護者に、問題がある横断歩道は県警の情報提供メールBOX、道路の不具合は市のラインアプリで通報できることを周知し、通学路の安全確保に努めていく。

(質問時間62分)



委員会の活動状況



総務 常任委員会

- 大石 伸雄^長 まつお正秀^副
- 大川原成彦 河本 圭司
- 中尾 孝夫 宮本けいこ
- 八木米太郎 八代 毅利

施策研究テーマ「①第5次西宮市総合計画にかかる事業計画の中で予算執行や事業進捗の制限をしている事業の今後について」「②職員の能力を最大に引き出す今後の人事制度について」「③今後の内部統制や監査制度の在り方について」の3件について、報告書を当局に提出しました。①ではコロナによる財政逼迫の中、中断されていた10事業について当局より今後の再開方針が示され、委員会としても了承しました。②ではここ数年続く職員の不祥事やコロナ禍における保健所業務逼迫による応援体制などの状況を踏まえ、

業務プロセス分析をベースに公務効率の確保などの観点から職員に対する厳しい処置も含めて対処していくことを求めました。③では、令和4年度から本格的運用の始まる内部統制制度により、監査委員にとっても内部統制に依拠した監査を効率的かつ効果的に実施すべきであり、進める過程で決して職員の負担にならないようにすべきと意見を述べました。この件では、昨年12月23日に西宮市の代表監査委員でもある関西学院大学の石原教授を招いて勉強会を実施し、現実的な講義を聴くことができました。委員会運営にご協力いただいた方々に心から感謝いたします。

また、特段重要な事項として、一部事務組合を2年後に解散することにした「丹波少年自然の家」では課題と西宮市の考え方について事前に報告を受け、協議を行いました。



民生 常任委員会

- 大原 智^長 ひぐち光冬^副
- 岩下 彰 大迫純司郎
- 川村よしと 町田 博喜
- 吉井 竜一 脇田のりかず

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では1年間(令和3年6月～令和4年6月)の総括を掲載しています。

(長) Ⅱ委員長 (副) Ⅱ副委員長

昨年6月以来、本委員会で決定し、すでに提言を終えた「空き地・空き家対策事業について」以外の「新型コロナウイルス感染症対策に係る経済支援策について」、「生涯学習事業の果たす役割と方向性について」の施策研究テーマ最終報告に向けて、議論を進めました。

■**新型コロナウイルス感染症対策に係る経済支援策について**
本年1月に、西宮商工会議所の方々に講師として招いた勉強会を開催し、コロナ禍における市内事業者の現状について調査を行いました。その調査をもとに、昨年10月

に市当局に緊急実施を求めた経済支援策の提言に続いて、2回目の提言を行いました。当初は、ポストコロナを見据えた各種支援策を中心にと考えましたが、コロナ終息というには時期尚早であり、ウィズコロナに向けた内容も加えました。

■**生涯学習事業の果たす役割と方向性について**
地域活動と社会教育の在り方を議論した本提言をまとめるにあたり、委員全員で心に留めた点があります。それは、本事業名が「社会教育」ではなく「生涯学習」とされている通り、上から目線になりかねない「教える社会教育」の転換期にあるという認識を持つことでした。教える側が主体ではなく、学ぶ側が主体となるべきであるとの考え方に基づき、私たち自身が、参加したくなる取り組みとは？を具体的に提案しました。



健康福祉 常任委員会

- うへだあつし^長 多田 裕^副
- 河崎はじめ 澁谷 祐介
- 田中 正剛 野口あけみ
- 山口 英治 よつや 薫

当委員会は5月20日に今任期最後の委員会を開催しました。5月現在、感染状況は一定落ち着いていますが、ワクチン接種事業や自宅療養患者支援事業など1年間を通じてコロナウイルス感染症対策に追われることとなりました。このまま終息へ向かえばと願いますが、再流行への備えやアフターコロナに向けた対策に助力してまいります。

◆**施策研究テーマ「ヤングケアラーについて」**
いまだ社会的認知度が十分ではない、ヤングケアラー(大人が担うようなケア責任を引き受け家事や介護などを行う子ども)

に対する支援を充実させたいという想いから1年間をかけての研究を行いました。

令和4年度からでも早急に支援拡充を実施していただくため、3月3日には委員会の提言をまとめ当局に提出いたしました。

提言①当事者、関係者及び社会への広報・啓発：社会的認知度を上げること当事者が支援を求めやすくなるとともに、当事者の早期発見につながる。

提言②発見や抽出から支援へとつながる仕組みづくり：ヤングケアラーの発見から支援につながる仕組みをつくることで支援開始までの時間を短縮し、支援を求めやすくなる。

提言③相談窓口の設置：いつでも誰でも相談できる本市独自の窓口の設置。

提言④支援体制の充実：オーダーメイドの支援が必要となるため、官民協働で質・量ともに充実した支援体制の構築が必要。

教育こども 常任委員会

- 菅野 雅一^長 松田 茂^副
- 江良健太郎 かみたにゆみ
- 坂上 明 佐藤みち子
- 田中あきよ 山田ますと

令和3年度の施策研究テーマである「子ども家庭総合支援拠点について」と「子供の体力・運動能力について」の2つについて報告書を当局に提出しました。

市は1月、児童虐待の防止で大きな役割を担う子ども家庭総合支援拠点を設置しました。委員会として設置前から、その在り方について検討してきました。報告書では、各委員が「職員の配置と人材育成について」「虐待の防止について」「市独自の児童相談所の設置について」の3つの観点から提言しました。

支援拠点の職員の増員を求める意見が多く、虐待の防止のために関係機関との連携強化を必要とする指摘が出されました。市独自の児童相談所については設置すべきとの意見が大半でしたが、時間をかけて検討すべきとの意見もありました。

■子供の体力・運動能力について
本市の子供たちの体力・運動能力の低さを深刻に受け止め、施策研究テーマにしました。報告書では、各委員が「体力・運動能力の向上策について」「外遊びの環境づくりについて」「ICTとの付き合い方について」の3つの観点から提言しました。

体育の授業で体を動かす楽しさを知ってもらう取り組みを進めてほしいとの意見が多かったのをはじめ、学校の運動場や教室を放課後に開放する放課後キッズルーム事業の拡充を求める提言が出されました。

建設 常任委員会

- 篠原 正寛^長 一色 風子^副
- 坂本 龍佑 たかのしん
- 花岡ゆたか 福井 浄
- 松山かつり やの 正史

当委員会は開発事業、市営住宅等を所管する都市局、道路や公園などを所管する土木局、上下水道局が担当でした。また5つの研究テーマに取り組んだほか、担当の諸議案や予算等を審査し、5月31日、その役割を終えました。各位のご協力に心より御礼申し上げます。

■施策研究テーマの結末

当市議会では市からの議案提出や報告を受けるばかりではなく、委員会側が担当の中で重要と思う項目をテーマ設定し一年調査研究、市に提言を行う仕組みがあります。以下5項目をテーマとし、すべての提言を完了させました。

①リゾ鳴尾浜跡地利活用の早期決定について（一昨年で廃業した同施設の有効利用について早期決着を見るための条件を昨年末に提言しました）

②住宅セーフティネットとして目指すべき公営住宅の在り方について（公営住宅の将来像を考え、新年度に制定された「西宮市営住宅整備・管理計画」に反映させるべく1月末に提言しました）

③本市開発行政の課題と地区計画制度の在り方について（市民によりわかりやすい開発行政にするため、また地区計画についての正しい知識を広めるための提言を行いました）

④工業用水道事業の今後の在り方について（将来が危ぶまれる工業用水道の収支改善方法について提言をしました）

⑤本市水道事業の代表的課題と将来像について（停電や災害・テロにも強い水道を
目指した提言を行いました）。



令和3年度の常任委員会の
施策研究テーマと報告書は
市議会ホームページでご覧
いただけます。



常任委員会に関する各種情
報はこちらをご覧ください。



議案等審議結果一覧表

(令和4年6月定例会)

全会一致で可決等されたもの

Table with 5 rows and 2 columns. Rows: 予算 (令和4年度補正予算), 条例 (一部改正), 一般案件 (財産取得), 報告 (専決処分), 人事 (監査委員の選任).

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table with columns for party names (e.g., 公明党議員団, 政新会) and rows for specific cases (e.g., 令和4年度補正予算, 市立中央病院条例).

※採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決されたことを示しています。なお、人事案件の場合は同意、報告などの場合は承認されたことを示しています。



▽開催予定時刻は午前10時です。日程は変更される場合があります。お問い合わせ先：議会事務局 議事調査課 (0798) 35-3378

Calendar table showing dates and council activities for October and September. Includes dates like 10月4日 (火) and 9月16日 (金).

請願・陳情の提出に関するお問い合わせはこちらまで → 9月定例会で審査する請願・陳情の締め切り(予定)は、9月6日(火)午後5時です。お問い合わせ先：西宮市議会事務局 議事調査課 Tel (0798) 35-3377

委員会委員名簿

Ⓔ=委員長 Ⓕ=副委員長
(令和4年7月7日現在)

総務常任委員会

市の政策や財政、税金、防災、消防に関する事など

- Ⓔ山田ますと Ⓕ江良健太郎
- 大石 伸雄 川村よしと
- 澁谷 祐介 中尾 孝夫
- 野口あけみ 松山かつのり

民生常任委員会

市民協働、文化・スポーツ、ごみに関する事など

- Ⓔ松田 茂 Ⓕ河本 圭司
- 大原 智 河崎はじめ
- ひぐち光冬 福井 浄
- 八木米太郎 よつや 薫

健康福祉常任委員会

福祉、介護、医療に関する事など

- Ⓔ八代 毅利 Ⓕ田中あきよ
- 岩下 彰 うえだあつし
- かみたにゆみ 菅野 雅一
- 町田 博喜 脇田のりかず

教育子ども常任委員会

子育て、保育、学校園に関する事など

- Ⓔ一色 風子 Ⓕ大迫純司郎
- 大川原成彦 佐藤みち子
- 篠原 正寛 多田 裕
- 田中 正剛 宮本けいこ

建設常任委員会

開発・建築、道路、公園、上下水道に関する事など

- Ⓔたかのしん Ⓕ坂本 龍佑
- 草加 智清 花岡ゆたか
- まつお正秀 やの 正史
- 山口 英治 吉井 竜二

議会運営委員会

議会運営に関する事など

- Ⓔ中尾 孝夫 Ⓕ脇田のりかず
- うえだあつし 菅野 雅一
- 篠原 正寛 澁谷 祐介
- 田中あきよ 田中 正剛
- 野口あけみ 松山かつのり
- 山田ますと

広報委員会

議会の広報に関する事など

- Ⓔ大迫純司郎 Ⓕ江良健太郎
- 坂本 龍佑 野口あけみ
- 松田 茂 宮本けいこ
- 吉井 竜二

その他の議会役職

- 監査委員
八木米太郎
- 阪神水道企業団議会議員
大石 伸雄 大川原成彦



表紙の写真を募集!!



- テーマ** 西宮市内の魅力を紹介できる写真
- 発行日** 年4回 2月、5月、8月、12月(各号10日)
- 提出物** ①写真データ(JPGまたはPNG形式、CD-RまたはDVD-R)
②タイトル、撮影場所、撮影日
③氏名(ふりがな)、住所、電話番号
- 応募方法** 上記提出物を郵送または持参
- 提出先** 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 西宮市議会事務局

- 春夏秋冬、どの季節の写真でも構いません。
- 未発表・オリジナル作品限定。
- 人物が特定されるなど掲載許可が必要な写真は、相手方からの了承を得てください。
- 必要に応じてトリミング処理や加工などを行う場合があります。

- 広報委員会で掲載写真を選考します(年4回)。
- 採用時には、氏名、タイトル、住所(町名)を誌面に掲載します。イニシャルや匿名での掲載も可(その旨を応募時に記載ください)。*ペンネームは不可。
- 採用時には粗品を進呈します。
- 応募作品は返却しません。

